



次世代の性能を実現

**NUTEC**

問 キョクトー ☎0729・94・5695  
 問 日本オイルサービス ☎042・542・8861  
<http://www.nutec-japan.com>







「性能にこだわり、効果を体感できるオイルとして自信をもってお勧めいたします。耐久性も十分に確保していますから、歴史的な名機であるGT-RのRB26DETのポテンシャルを維持、長く大切にお乗りになるための貢献度もあります。この良さをご理解いただけることが、何よりも我々の誇りです」と語るニューテックジャパン代表の鳩谷和春氏

### チューニングすることも視野に入れ マニアックなユースにも対応可能

#### 性能重視でコストは「2」の次に すへつをエンジンのために注ぐ

ニューテックは'97年に設立された比較若いオイルメーカーだが、スタート当初から確かな技術とマンパワーを携えていた。フランスのオイルメーカーのレース部門に在籍して、オイルやガソリンに精通していたエンジニアたちが独立。イギリスを拠点に活動が始まった。

その当初はレースガソリンの開発・供給が主であったが、'99年からはオイル関連製品の開発に着手。以来、F1やモトGPに代表される世界のトップカテゴリレースのチームや、ドライバーたちも、ニューテックを愛用しているのだ。

そのニューテックは欧米のみならず、日本との結びつきも強い。以前よりイギリスで活動するメンバーと親交の深かった鳩谷氏が、ニューテックジャパンを設立。開発およびマネージメントに参画。

国内の4輪モータースポーツにおいては、スーパー耐久やスーパーGTにテクニカルスポンサーとしてギヤオイルも含めて参戦を開始。また、ラリーやダートトライアル、ジムカーナや各プロダクションレースなど

でのユーザーも多くなった。

そんなバックボーンとプロフィールをもっているニューテックのオイルの基本コンセプトは、オイル自体を進化・強化させることにある。すなわち、それは添加剤に頼らずに、あくまでもベースオイルの良さで勝負する、ということだ。

もともと生粋の技術者集団だけに品質向上には貪欲。高価なエステル系素材を採用するなど、コストや開発の効率化よりも第一に性能を優先。高性能オイルとして必要なるものを積み上げていく開発・製造スタンスなので、商品としての価格は高くなるがエンジンや走りにこだわりをもつユーザーに支持されれば良い、と考えている。

ニューテック製品は、主力のNC40/NC41レーシングを筆頭に個々の分子構造が極めて小さいボールベアリング。そんな考え方が当てはまる。従来の1/10以下の超微粒子分子構造のオイルは、せん断性、熱伝導性、極圧性に優れ、微細化されたオイルは金属表面に吸着、極薄油膜を形成し強靱で油膜切れを起こさない理想的な滑接面を作り出す。

これらの相乗効果によって、エンジン内部のフリクションが劇的に低減し、パフオー

ーマンスアップや静粛性を体感。さらに高いエンジン保護や環境性能などももたらされるのだ。

また、レース用として開発されたものでありながらストリートでの使用もOK。というのもポイント。これは高性能でありながらロングライフ性能も兼ね備えていることを意味する。現実には我々が手にするのと同じものがレースに投入されている。

また、よりマニアックユーザーにはブレンドによるオイルチューニングができることも魅力となるだろう。5W-30のNC40と、10W-50のNC41を50対50の比率で混ぜ合わせれば、マイナス10〜15℃の環境下でもカバーできる5W-40相当のオイルとすることも可能。さらにUWシリーズというモデルは予めブレンドすることを前提にしている。

性能にこだわるニューテックは、その良さを認識してくれたスペシャルショップで手に入れることができる。そのなかにはモータースポーツファクトリーやチューニングショップ、さらに新車ディーラーも含まれる。これはニューテック製品の守備範囲の広さと、高い評価を得ていることの証明といえよう。



NC-50 (10W-50) / NC-51 (0W-30) エステルレーシングシリーズも化学合成油。互いを50 : 50で混ぜ合わせることで、5W-40相当にチューニングすることも可能。このほかにギヤオイルやブレーキフルードなどもラインアップされているので注目したい



鳩谷氏は自動車メーカーのモータースポーツ部門に在籍し、エンジン設計やCカー、GTカーといったカテゴリーを経験したエンジニアでもある。だから本国と同様に性能にこだわるのだ